

オニタビラコ

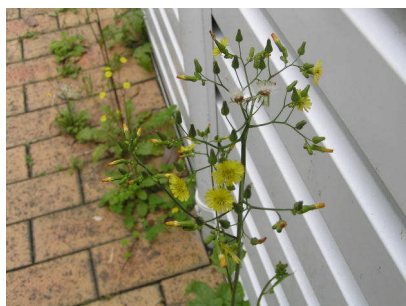
[草本] 《嗜好》



花は初春に多いが通年見られる。



長い花茎の先端に花を付ける。



道ばたにも多い。

区別のポイント

高さ 0.2 ~ 1 m の茎の先端に直径 8 mm ほどの黄色の頭花を散房状につける。初春に多く開花する。道ばたで普通に見られる。

形態 1 ~ 2 年草。高さ 0.2 ~ 1 m。群生することが多い。

分布 全国

名前の由来 ロゼット状の葉が放射状に伸び、田に平らに張り付くように這う事から、オニは大きいこと。

葉 **〈全体〉**長さ 8 ~ 25 cm、幅 1.7 ~ 6 cm で羽状に深裂する。茎の下部に多く付く。

〈葉先〉根生葉はまるく、他は尖る。

〈縁〉不規則に深裂し波打つ。

備考

出典 1 4